

## 協会ニュース

令和元年 12 月 20 日  
中国地区品質経営協会  
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)  
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845  
e-mail qmac@a1.mbn.orjp URL http://qmac.jp/

### 令和元年度 第 3 回シンポジウム「組織活性化・人材育成」

- ◆ 開催日時 : 令和元年 12 月 13 日 (金) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 場 所 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室
- ◆ 参加者 : 32 企業・団体 107 名

「人手不足」は、日本経済に於いて大きな課題となっており、各企業では貴重な人材の確保を目的に外国人材の活用に積極的に取り組む中で、様々なシーンで悩まれるケースも少なく無いようです。

そこで今回の組織活性化・人材育成シンポジウムでは、「外国人材の活用」をテーマに、外国人材の受入行政機関、外国人材を積極的に活用している企業に、それぞれの取組みについてご講演頂きました。

講演第 1 部では、『外国人行政の課題と展望 外国人が日本で働くために！』と題して、広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 首席審査官 関 秀継 様、統括審査官 岡村 匡祐 様にご講演頂きました。

在留外国人 273 万人に対する共生のための総合的対応策、特定技能制度に関する特定技能 1 号・2 号の違い、先進的な受入企業の取組み事例を紹介頂き、地方で就労することのメリットを学ばせて頂きました。在留資格(身分・就労目的)も大変興味深い内容でした。

講演第 2 部では、シグマ株式会社 代表取締役 下中 利孝 様に『人型未来企業への成長を目指して！海外人材の重要性と活用方法』と題してご講演頂きました。中国・インドへの独資進出を果たすために、外国人材がいかに重要であったかがわかりました。又、外国人材に対するサポートも重要であることを知りました。

両講演後、広島工業大学名誉教授の久保田洋志先生をコーディネーターとして迎え、パネルディスカッションが行なわれました。会場から寄せられた多くの質問に講演者が回答することで、講演内容の深掘りや講演中には触れられなかった内容なども話題に上がり、参加者の理解もより深まったのではないかと思います。

当日は、32 企業・団体 107 名と多数の方にご参加頂きました。アンケート結果では、『興味深い内容だった』、『ヒントになった・参考にしたい』、『感銘を受けた』などの感想が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



広島出入国在留管理局  
就労・永住審査部門  
首席審査官 関 秀継 様



広島出入国在留管理局  
就労・永住審査部門  
統括審査官 岡村 匡祐 様



シグマ株式会社  
代表取締役 下中 利孝 様



パネルディスカッションの様子  
(左からコーディネーターの久保田様、  
下中様、関様、岡村様)